2026 年 11 月 11 日

報道関係者各位

株式会社 FRONTEO

FRONTEO、米国 AI 創薬サミット「AI Drug Discovery & Development Summit 2026」に出展・講演

独自の AI「KIBIT」による「非連続的発見」と創薬研究実績が

世界の製薬企業から高い関心と評価を獲得

株式会社 FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下「FRONTEO」）は、2026 年 10 月 27 日（火）～29 日（木）に米国マサチューセッツ州ボストンで開催された AI 創薬の国際カンファレンス「AI Drug Discovery & Development Summit 2026（以下「AIDDD」）」にプラチナパートナーとして出展し、取締役／CSO（Chief Science Officer）の豊柴 博義が講演を行ったことをお知らせします。



豊柴 博義 取締役／CSO が「Can AI Discover Biology That Has Never Been Reported?（邦題：AI は、これまで報告されたことのない生物学的知見を発見できるか？）」をテーマに講演

AIDDD は、世界の大手製薬企業や研究機関などが参加する、AI 創薬に特化した国際カンファレンスです。FRONTEO は、AI 創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory（以下「DDAIF」）」のブース展示を行うとともに、「Discovery Biology Stage」において、自社開発

の方程式駆動型 AI「KIBIT（キビット）」を活用した新規標的分子探索の技術と研究成果について講演しました。



グローバル大手製薬企業の研究開発関係者を中心とした二百数十名が講演を聴講。
「非連続的発見」に高い関心が寄せられた

豊柴の講演「Can AI Discover Biology That Has Never Been Reported?（邦題：AI は、これまで報告されたことのない生物学的知見を発見できるか？）」では、既存の知識を統合・整理する AI とは異なり、膨大な医学論文の解析から、論文未報告の疾患と標的分子の関係性を予測する「非連続的発見」のアプローチを解説するとともに、DDAIF を活用してすい臓がんの新規標的分子候補を短期間で抽出し、その後の in vitro 試験で細胞増殖抑制効果を確認した事例を紹介しました。また、標的分子探索に加え、適応症探索、ドラッグリポジショニング、バイオマーカー探索など、DDAIF の幅広い活用可能性を提示しました。
本講演は大きな関心を集め、講演後にはグローバル大手製薬企業の研究開発関係者をはじめ、多くの参加者が FRONTEO のブースを訪れました。参加者からは、非連続的発見を実現する独自技術の仕組みや、具体的な研究成果・実績について多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。特に、国内外の企業・アカデミアとの幅広い共同研究実績に加え、すい臓がんの新規標的分子探索など、AI 解析による仮説構築から実験検証へと研究が進展している点が評価されました。



世界の大手製薬企業やバイオテクノロジー企業、AI・GPU クラウド企業が参加

本出展を通じて、新規性の高い創薬標的分子の探索が世界の製薬企業・研究機関に共通する重要課題であり、非連続的発見を可能にする FRONTEO の AI 技術への強いニーズがあることが確認されました。また、独自技術と研究実績に対する評価を通じて、DDAIF の競争力と事業拡大の可能性が改めて示されました。

FRONTEO は、こうした成果を踏まえ、グローバル市場における DDAIF の事業展開を一層加速してまいります。海外の製薬企業や研究機関との新たな協業機会を積極的に拡大し、革新的医薬品の創出とアンメット・メディカル・ニーズの解消に貢献してまいります。

■AI Drug Discovery & Development Summit 2026 について



AI Drug Discovery & Development Summit は、AI を活用した創薬・医薬品開発に特化した国際カンファレンスです。2026 年は第 5 回の開催となり、世界の大手製薬企業やバイオテクノロジー企業、アカデミアなどの関係者が集まりました。創薬生物学、創薬化学、臨床試験などの領域において、AI 技術を活用した研究開発の最新動向や実践事例が共有されました。

開催日：2026 年 10 月 27 日（火）～29 日（木）
会場：ボストン・マリオット・コプレイ・プレイス（米国マサチューセッツ州）
主催：Kisaco Research
オフィシャルサイト：https://www.aidrivendrugdevelopment.com/

■FRONTEO Drug Discovery AI Factory（DDAIF）について

【ご参考：製薬企業およびアカデミアとの取り組み】

URL：https://www.fronteo.com/news/ddaif-list



「FRONTEO Drug Discovery AI Factory（DDAIF）」は、自然言語処理に特化した方程式駆動型 AI「KIBIT（キビット）」（日本・欧州・米国・韓国特許取得済*）と、FRONTEO の創薬研究者および AI エンジニアの知見を融合した AI 創薬支援サービスです。疾患関連遺伝子ネットワークの解析や、標的分子候補に関する仮説の構築を通じ、医薬品開発における研究者の意思決定を強力にサポートします。本サービスはすでに複数の大手製薬企業で導入され実績を重ねています。

*Drug Discovery AI Factory に使われている技術は、FRONTEO が日本および欧州、米国、韓国で計 21 件の特許権を取得しています。

URL：https://lifescience.fronteo.com/products/drug-discovery-ai-factory/

■株式会社 FRONTEO について　URL：https://www.fronteo.com/

FRONTEO は、自社開発の方程式駆動型 AI「KIBIT（キビット）」の提供を通じて、日夜、社会課題と向き合う各分野の専門家の判断を支援し、イノベーションの起点を創造しています。当社独自の自然言語処理技術（日本・欧州・米国・韓国特許取得済）は、汎用型 AI とは異なり、教師データの量およびコンピューティングパワーに依存することなく、高速かつ高精度での解析を可能にします。加えて、解析した情報をマップ化（構造を可視化）する特許技術を活用することで、「KIBIT」が専門家のインサイトにダイレクトに働きかけることができ、近年、「KIBIT」の技術が創薬の仮説生成や標的分子探索にも活かされています。



「KIBIT」の独自技術およびアプローチを通じて、「集合知に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないソリューションを提供し、情報社会のフェアネスを実現する」理念の実現に向けて、ライフサイエンス AI、リスクマネジメント（経済安全保障分野、ビジネスインテリジェンス・コンプライアンス支援分野、ビジネスインテリジェンス・プロフェッショナル支援分野、リーガルテック AI 分野）、DX（株式会社アルネッツ）の各事業で社会実装を推進しています。

2003 年 8 月創業、2007 年 6 月 26 日東証マザーズ（現：東証グロース）上場。日本、米国で事業を展開。資本金 915,057 千円（2026 年 6 月 30 日時点）。

※FRONTEO、KIBIT、Drug Discovery AI FactoryはFRONTEOの日本および欧州、米国、韓国における商標または登録商標です。

＜報道関係者のお問い合わせ先＞
株式会社 FRONTEO 広報担当
Email：pr_contact@fronteo.com　電話：080-3449-6844

＜ライフサイエンス AI 事業に関するお問い合わせ先＞
株式会社 FRONTEO ライフサイエンス AI 事業本部
https://www.fronteo.com/ja/contact/business